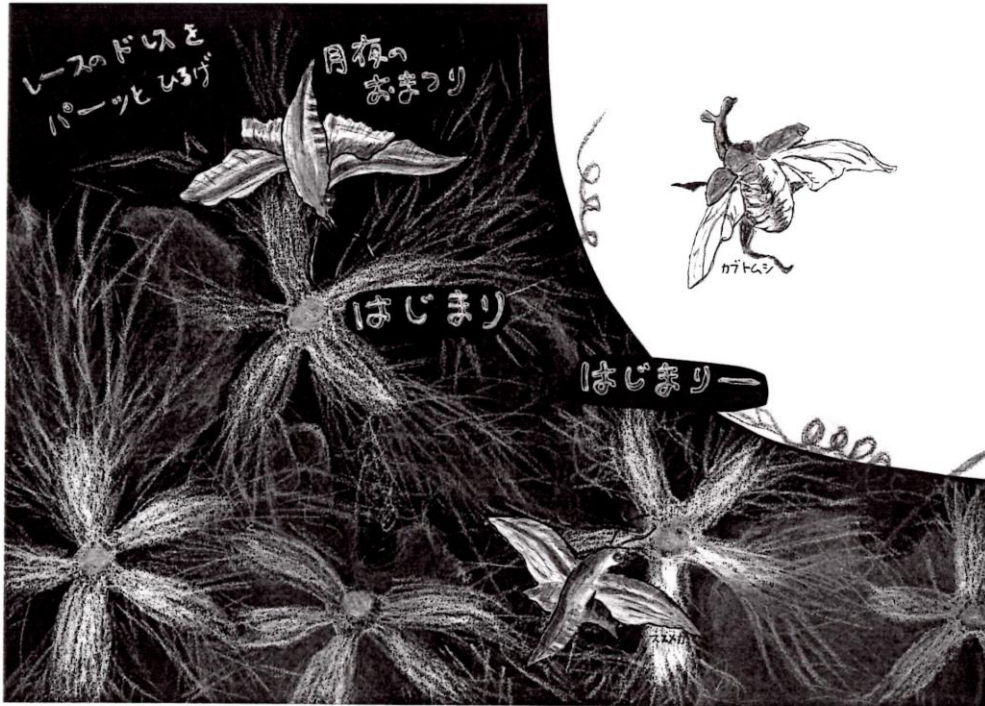




ゴロスケ報々



●30周年記念 親子☆森のミニたたら 報告●

友の会活動報告

砂鉄採集イベントを行いました。

日時：6月3日（日）10時～11時30分

場所：稲村ヶ崎

参加者：一般6名／3組。友の会5名（ZFC×3、畑PJ×1、森の絵本づくりの会×1）

砂鉄採集量：24kg

●30周年記念講演のお知らせ●

友の会行事のお知らせ

講演内容：

①「円海山緑地成立にかかわる自然史」

町田洋氏（日本第四紀学会 元会長、東京都立大学 名誉教授）

②「植物相から見た三浦半島」

大森雄治氏（元横須賀市自然・人文博物館 学芸員）

日時：10月21日（日）9時30分～12時30分

場所：観察の森センター研修室

応募：友の会会員は優先受付（既に申込み可能です）

電子メール：kansatsunomori@gmail.com Fax：045-894-8892

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●7月定例会報告●

日時 2018年7月16日(月・祝) 9:05~10:20
 出席者 青木、秋元、今村、上原、大浦(議長)、落合、片岡、志釜、関根(書記)、高橋、中里、
 西山、村松、山口、渡部、尾崎R、掛下R

議 題

1. 行事報告
 5月下旬から7月上旬の行事報告、活動報告をおこないました。
 6月の「森を守るボランティア体験」(鳥のくらし発見隊担当)の参加者9名。
2. 行事予定
 8月中旬から10月上旬までの行事予定の確認をおこないました。
3. 各プロジェクトの活動報告と活動予定の確認をおこないました。
4. ごろすけ館の利用希望の調整をおこないました。
5. 事務局より
 - ・前期利用推進会議にむけて、友の会から市への要望として2点を確認しました。
 1. 友の会行事の参加者への、飲み水の提供について
 2. 森の家の駐車場について、申し合わせでは観察の森の利用者も使用できるはずなのに森の家の職員によって解釈が異なるので、確認してほしい。
 - ・広報よこはま栄区版の「栄区のお知らせ」コーナーに、8月号から友の会の行事が掲載されます。
 - ・金沢いきいきフェスタ(10月20日)栄区民まつり(11月3日)への参加を確認しました。
6. センターより
 「観察センターだより」のページをご覧ください。

<次回定例会>

9月16日(日) 9:00~ 自然観察センター研修室
 ※定例会は会員の方どなたでも参加できます。

●7月理事会報告●

日時 2018年7月16日(月・祝) 10:38~12:18
 出席者 青木、秋元、大浦、落合、志釜、関根、中里、中塚、西山、村松、山口、吉田、掛下R、
 尾崎R (代理:小島→片岡)(欠席:漆原)

議 題

- 1 30周年準備
 - ①イベント:記念講演会の開催要領、PR方法、チラシ内容、進行・分担(一部)などを確認しました。また、たたら製鉄見学の追加募集PR方法を確認しました。
 - ②記録誌:ページ構成、原稿執筆依頼・スケジュール等を確認しました。
 - ③記念品:ストラップのデザインを4案から人気投票により決定しました。
- 2 安全管理
 - ・普及系行事の一般参加者の服装について、統一表記は難しいため各行事で参加者へ危険度を説明し注意喚起を行うことを確認しました。
- 3 その他
 - ・規約に基づく臨時の理事指名(広報担当理事:今村さん)について事務局長から推薦があり、全会一致で承認されました。

<次回理事会>

日時 9月16日(日) 11:00(定例会終了次第のため早まる可能性あり)~12:30
 場所 自然観察センター研修室
 議題 30周年準備ほか

●定点カメラで動物調査 活動報告●

7月14日の活動日には、森の中のけもの道3か所でのカメラの設置、5～6月に撮影された写真のチェック、そして写真展の設営を行いました。

2013年から使用してきた赤外線センサーデジタルカメラが製造中止となり、今回から新しい機種を使用することになったのですが、旧カメラと新カメラでセンサーの効き具合等を比較するため、これからはばらばらに両方のカメラを設置することになります。

新しい機種はフラッシュを焚かず、赤外線ライトで撮影するため、夜間は白黒写真になってしまうのですが、フラッシュのように動物たちに気づかれることなく撮影できるので、もしかするとより自然の姿が写るかもしれません。

写真チェックでは、おなじみのタヌキ、ノウサギ、ネズミの仲間、タイワンリス、アライグマ、ハクビシン、そしてネコなどが写りましたが、中でも半分立ち上がったかわいいノウサギが目を引きました。

写真展は11月9日まで、ゴロスケ館にて開催中です。上記のノウサギを含め、森でたくましく生きる動物たちの写真のほか、これまでの10年間の調査結果をポスターにまとめて展示しています。撮影された動物（鳥類含む）の数、増えた動物・減った動物、動物毎の撮影時期と撮影時刻の関係をまとめていますので、ご興味ある方はご覧になってください。

今後の予定（時間は全て9：30～12：00。写真チェックは11：00から。）：

9月8日（土）： カメラ設置と写真チェック

10月13日（土）： カメラ回収と写真チェック

11月10日（土）： 写真展撤収、写真チェック

興味ある方、一緒に調べませんか。

●森を守るボランティア体験(6月) 報告●

6月17日（日） 参加者9名 鳥くらスタッフ7名、レンジャー2名

担当：鳥のくらし発見隊

体験テーマ：夏鳥の歌をきこう

室内で観察の森、友の会の説明のあと、外へ出ました。鳥は少なかったのですが、ウグイスが囀っている姿をじっくり観察することができました。炭小屋や畑をまわり、センターに戻ってきました。昼食後のゴロ報発送作業は、1名の方にお手伝いをいただきました。

入会者は4名でした。

森のこぼれ話 ふむふむ

夏はセミ。

セミは世界中に約1900種類、日本に約32種類が生息している。

観察の森では、ニイニイゼミ・アブラゼミ・ヒグラシ・ミンミンゼミ・ツクツクボウシ・クマゼミの6種類が観察できる。セミは鳴くとき、お腹が上下に動かす。小さいからで大きな声ができるのは、からだの半分くらいある腹の部分が空洞になっていて、共鳴するためである。早朝から鳴きだし、一日中鳴いている。カいっばい鳴いている。

日が暮れると森中響き渡るセミたちの鳴き声がピタッと止む時間帯がある。ピタッと止んだのだ。一瞬、森がシーンとなったのである。そして静かに秋の虫たちが鳴き始めたのだ。セミたちは明朝までの眠りに入ったのだ。

志釜じゅんこう

●2018年度安全管理講習「円海山緑地における安全管理のしくみ」報告●

6月に実施した今年度の安全管理講習の内容を報告する。当日は、栄消防署上郷消防出張所の方々が出動に備えて消防車と救急車で来られ、救急車は講習中に出動する、という緊迫感のあるものとなった。

日時：2018年6月2日（土）13時30分～15時

場所：横浜自然観察の森 自然観察センター 研修室

講演1 「円海山緑地における安全管理のしくみ」

《講師》栄消防署上郷消防出張所 所長 荒井康彰氏他消防隊員数名

- 円海山を中心としたつながりの森は大規模で4つの区に接し人口も多い。このエリアには3つの消防出張所（栄区上郷、金沢区釜利谷、港南区港南台）が連携して出動する。これらの出張所の隊員は年に数回の救助訓練をしているし、警察、南部公園緑地事務所、各区の土木事務所、地元消防団、それに観察センターとも協力している。それだけでなく119番通報を受ける消防指令センターの職員も年に1回はつながりの森を実際に見に来ている。事故などの第一報は携帯電話で入ることが多く、基地局のアンテナから100メートル以内くらいならおよその位置が分かるが、周りに見えるものを話してもらったり、最近整備されたプロポスの番号がわかれば特定しやすくなる。
- 横浜市の広報よこはまの8月号の栄区版につなかりの森についてのコラムを載せたので参考にしてほしい。森に入る時には知人や家族に入口やコースを伝えることが大事。またコースでは木の根で転ぶことが多いので、注意とケガをしない体づくりも必要。
- 最近の事件事例4件の報告では、それぞれ放置された本人のオートバイや荷物、連絡されたプロポスの番号、それにヘリコプターによる熱源探知計が役にたった。探索には「情報が一番大事」ということが特に強調された。
- その後、特別救助隊以外では市内でも上郷出張所と釜利谷出張所にしか配置されていない救助器具の「パーティカルストレッチャー」を使った実演があった。隊員が背負って現場に持って行け、被救助者を載せて縦にも横にもでき、斜面を引っ張ったりそのままヘリコプターで吊り上げられるというすぐれもの。
- 質疑で、行方不明者の救出における警察と消防の役割の違いについての質問があった。警察の役割は捜査や捜索で、人のいる場所がわかって救命するのが消防の役割というのが原則。ただし、消防も救命に備えて現地に行くので捜索にも協力しているというのが実態だという。

講演2 「横浜自然観察の森及び周辺の樹林での案内板改修と関連の事業」

《講師》横浜市環境創造局みどりアップ推進課 担当係長 菊池昌人

前半では、つながりの森の利用者に対する情報提供として円海山マップなどを配布していることや、現地案内板やプロポスの設置、観察の森経由での緊急連絡網について説明があり、後半は市のみどりアップ政策概要の説明。最後の質疑で、友の会から「トレイルランニングが友の会の行事にも影響を与えている」ことを説明し、市の見解を確認したい旨を要請した。

中塚（安全管理担当理事）

●駐車場の草刈り 報告●

6月30日（土）に観察の森駐車場の草刈りを行いました。

参加者は12名（3PJ）。

当日は強い日差しの中、10時過ぎから初めて、途中何度か休憩を取りながら約1時間30分ほど終了しました。

参加した皆様ありがとうございました。

友の会行事のお知らせ

●絵本「月夜のおまつり」原画展のお知らせ●

観察の森以外での初めての原画展です。足を運んでいただければ嬉しいです。

期間：8月20日（月）から8月31日（金）まで
場所：金沢区役所1階エレベーター前展示スペース

森の絵本づくりの会一同

●ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう●

猛暑の日々が続きますが、ミズキの池にあるハイド前に草が繁茂し池を訪れる生き物たちの姿が見難くなっています。会員の皆様のご協力により例年通り草刈りを行いたく思いますのでご協力よろしくをお願いします。

1. 実施日時：2018年9月2日（日） 9時10分集合～11時頃まで
2. 集合場所：自然観察センター前
3. 作業場所：ミズキの池ハイド前
4. 服装等：汚れても良い服装、帽子、飲み物、軍手。（少雨決行）
5. 参加資格：友の会会員（中学生以上）

担当：カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐)●

雑木林の手入れ（間伐）を体験します。

日時 9月15日（土） 10時～14時

対象 小学生以上30名 中学生以下保護者同伴

申込 下記事項を明記の上、メール（kansatsunomori@gmail.com）、FAX045-894-8892 でお申込み下さい。

- ①イベント名
- ②参加者全員の氏名
- ③代表者の連絡先
- ④FAXの時はFAX番号
- ⑤どこでこのイベントを知ったか

申込期間 8/6（月）～9/7（金）

担当：雑木林ファンクラブ

●カワセミファンクラブ特別写真展「野鳥の親と子の姿」展●

普通にこの森で目にする野鳥でも、その幼鳥や若鳥は意外にも親とはその姿が異なっている事があります。そんな親と子の姿の差をこの森でカメラに収めたカワセミファンクラブ会員の力作を揃えた写真展です。

友の会設立30周年として例年より1ヶ月長い3ヶ月の開催期間になりますので、来園者に楽しんで頂けたら幸いです。

1. 開催期間：2018年9月30日（日）～12月23日（日）
2. 開催場所：ゴロスケ館

担当：カワセミファンクラブ

●金沢まつりいきいきフェスタ●

「金沢まつりいきいきフェスタ」に友の会が出店します。ぜひお立ち寄りください。

10月20日（土） ※雨天21日（日） 海の公園

【報告】第2回 保安全管理フォローアップの会 (7/7 (土) 13~15時)

○参加者 友の会 4名 (石川裕一さん、落合道夫さん、藤原 功さん、吉田賢一さん)
横浜市 2名 (菊池昌人さん、山野崇さん)、レンジャー 3名 (掛下尚一郎、奴賀俊光、黒川麻紀野)

○内容 ピクニック広場の試行ゾーンのセイタカアワダチソウの除去を行いました。このゾーンには、保全対象とするススキ、ナンバンギセル、クララや近年保護対象としているミヤコグサなどがまわって生育している場所で、選択的除草や草丈を変えた管理などを皆さんと一緒にやっていくゾーンとしています。今回の活動では約1時間で4,000本以上ものセイタカアワダチソウを除去することができ、ススキが中心の草地となりました。

【報告】第1回 保安全管理懇談会 (7/7 (土) 15~13時)

○参加者 友の会 4名 (石川裕一さん、落合道夫さん、藤原 功さん、吉田賢一さん)
横浜市 2名 (菊池昌人さん、山野崇さん)、レンジャー 3名 (掛下尚一郎、奴賀俊光、黒川麻紀野)

○内容 今年度、横浜市(委託業者)の行なう草刈りや外来種の伐採等の環境管理作業、改修工事、レンジャーの行なう環境管理作業等について報告し、以下について意見交換を行いました。

- ・炭小屋裏にある大きなサクラにベッコウタケが発生し突然倒木する恐れがあるため、今秋を目途に業者による伐採を委託する予定であること。
- ・ハイケポタルの湿地のトンボ類の出現に変化が見られる(シオヤトンボの発生が0、ヤブヤンマが増えクロスジギンヤンマが減ったなど)ことから泥上げのタイミングを昨年度より早めること、水面を被う浮草の発生状況を見守ること。
- ・タンポポの道6-7番のトンボ池付近のぬかるみについて対策を検討すること 等。

【予定】第3回保安全管理フォローアップの会 9/1 (土) 13~15時 (参加者募集)

保安全管理計画書に関する意見交換と、桜林やピクニック広場において草本層の管理作業などを予定しています。残暑厳しい時期のため、天候によって活動内容を変更いたします。詳細は、メールマガジンでお知らせいたします。なお、当初、勉強会を予定しておりましたが、講師の都合がつかず勉強会は11月に変更させていただきます。

資料の準備の都合上、ご出席いただける方は、できるだけ前日までに掛下<kakesita@wbsj.org>、黒川<kurokawa-a@wbsj.org>までご連絡ください。

【募集】●アライグマ捕獲ワナの巡回ボランティアを募集します

今年度もアライグマの捕獲を予定しています。今年度は神奈川県要請でアライグマ専用の捕獲ワナを2基借りることになりました。それによる捕獲の効果や錯誤捕獲の発生状況についても情報収集したいと考えています。ワナによる捕獲には日々の巡回が必要なため、今回も巡回に協力いただけるボランティアを募集いたします。

◆内容 11月~3月のご都合のよい平日午前中(30分~1時間程度)ワナを巡回し、捕獲の有無の確認とエサの補充をしていただきます。10月には神奈川県や市の担当者も招きワナの扱い方など事前の打ち合わせも行います。

★詳しくは掛下<kakesita@wbsj.org>までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

【お知らせ】自然観察センターの熱中症対策

早い梅雨明けと記録的な暑さでスタートしたこの夏、連日の「高温注意情報」発令に、自然観察センターでも来園者の熱中症予防に努めています。センターの入口には「今日の暑さ指数」の看板を設置。環境省が提供する情報をもとに、4段階で警戒を呼びかけています。

館内は冷房の効いた研修室・ゴロスケ館を、休憩場所として利用するように積極的な声掛けを行っています。

また、主催行事では野外活動の時間を見直し、参加者へも事前に注意を促すとともに、保険も熱中症が適用するように変更の対応を取りました。

残暑も厳しい予報がでています。みなさま活動時は来園・帰宅時の暑さも見込んで対策をお願いします。



【報告】ホタルゲンちゃんハイちゃん紙芝居劇場

今年も6月の週末に3回の「紙芝居劇場」を開催し、ホタル観察のマナー呼び掛けを行いました。雨の影響などを受け、例年より少ない参加者数でしたが、安全に、ホタルに配慮した観察をしてもらえました。開催にあたって、友の会7名の方にご協力いただき、きめ細かに対応していただきました。今季のホタルは、ゲンジボタルの最初の数匹が5月半ばに飛びぬけて早くあらわれたものの、ピークは6月の第2週目にありました。ハイケボタルは6月初めから末まで、100前後が長く安定して観察されました。



ホランテアサ

** 6/5~7/31 **

ありがとう

- 6/5~ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供
- 6/5~ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 6/7 カワセミファンクラブ 大浦晴壽さん 展示・レクチャー用画像のご提供
- 6/9 カワセミファンクラブ 廣瀬康一さん 展示用画像のご提供
- 6/10 カワセミファンクラブ 佐々木祥仁さん 展示用画像のご提供
- 6/10、7/8 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供
- 6/16 雑木林ファンクラブのみなさま ストープ用の薪のご提供
- 6/30 友の会有志のみなさま 関係者用駐車場の草刈
- 6/9 今村修さん、西山健太郎さん、西山えみるさん、西山正太郎さん、矢島静さん、竹田直矢さん
イベント「ゲンちゃんハイちゃん紙芝居劇場」へのご協力
- 6/16 今村修さん、西山健太郎さん、西山えみるさん、竹田直矢さん、水上重人さん、
岩崎由春さん、村松古明さん
イベント「ゲンちゃんハイちゃん紙芝居劇場」へのご協力
- 7/21、22、石川裕一さん イベント「水辺のいきもの調査隊」へのご協力
- 7/25 雑木林ファンクラブのみなさま 県立栄高校ボランティア対応へのご協力

行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

※詳しくは1ページ、5ページを参照

- 写真展「森の生きものたち」
7/15(日)～11/9(金)
場所：ゴロスケ館
担当：定点カメラで動物調査
- 絵本「月夜のおまつり」原画展
8/20(月)～8/31(金)
場所：金沢区役所1階エレベーター前
- ミズキの池ハイド前の環境整備
9/2(日) 9:10～11:00頃
- 森の作業体験(間伐)
9/15(土) 10:00～14:00
- 特別写真展「野鳥の親と子の姿」展
9/30(日)～12/23(日)
- 30周年記念講演
10/21(日) 9:30～12:30

●自然観察センター主催行事●

■【幼児向け 生きものとして森さんぽ】

レンジャーといっしょに森の自然を観察しよう!

開催日：10/27(土)、28(日)

時間：各回10時～12時 (各回同一内容)

対象：3～6歳の未就学児とその保護者
各回40名(抽選)

申込：下記項目を明記の上、メールまたはFAXでお申し込みください。

- ①イベント名と日時
- ②参加者全員の名前
- ③お子様の年齢
- ④代表者の連絡先電話番号
- ⑤FAXの時はFAX番号、往復はがきの時は返信先住所氏名
- ⑥情報源「ゴロ報」と明記

締切：10/15(月)

担当：自然観察センター

FAX 045-894-8892

Eメール yokohama-nc@wbsj.org

発行日 2018年8月19日
発行 横浜自然観察の森友の会
FAX 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
9/2(日)・10/7(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査

9/8(土)・10/13(土)
9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参

集合：ゴロスケ館集合

活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

9/9(日)・10/14(日)

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

9/19(水)・10/24(水)

10:30～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

9/15(土)・10/20(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

9/22(土)・10/27(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜